

青果物集出荷作業のデジタル化による省力化と情報精度の向上

デジタル集出荷機能

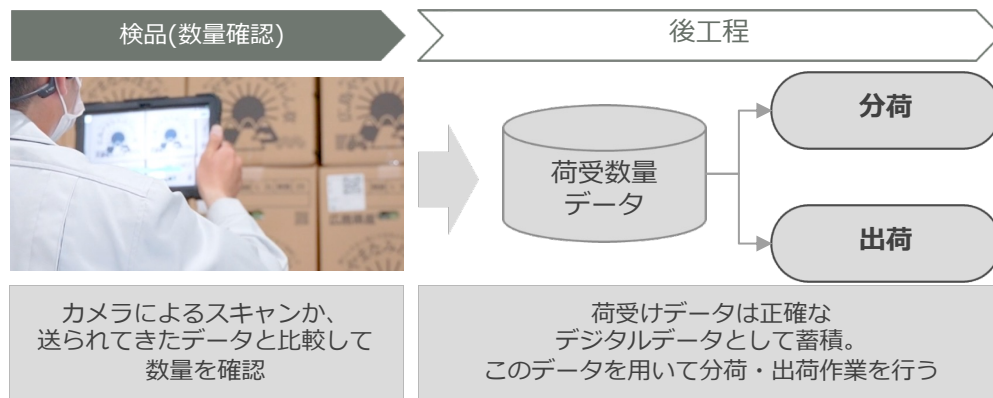
生産者の出荷作業

生産者は事前に生産者情報・規格・出荷先・量目などの情報が入ったバーコードラベルを出力して、出荷用段ボールに貼り付けておきます。選別した青果を段ボールに梱包し、出荷時にスマートフォンで読み取るだけで、自動的に数量を集計し、出荷データを作ります。



集荷場荷受け担当者の集荷（検品）作業

集荷場では荷物に貼られたバーコードラベルをスマートフォンやタブレットで読み取って数量を確認。自動的にデータが出来上がるので、入力作業が不要になります。規格数が多くても自動的に集計してくれるので負担を大幅に軽減できます。



カメラを使った検品の特徴

- ・ **バーコードには1枚ずつ異なる番号が振られているから、二重カウントしない**

バーコードに含まれる番号には、生産者番号、品目、規格、出荷先、出荷団体といった情報のほかに、連番が振られています。なので全てのラベルが異なる番号を持っているので何度読み取っても1つの荷物は一個としてカウントします。

- ・ **独自に開発したスマートフォンアプリで、カメラをかざすと複数のバーコードを一気に認識**

一般的なバーコードリーダーでは、1つずつバーコードを読み取りますが、らくらく出荷ではスマートフォンのカメラを使って1/20秒間に10個のバーコードを同時に認識します。つまり、1秒間に最大200個のバーコードを認識して解釈することができます。認識したバーコードは画面上に表示されるので、どれを認識したのか一目でわかります。

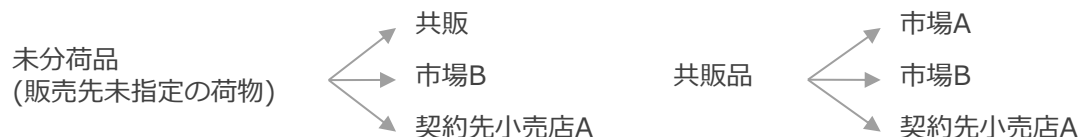
青果物集出荷作業のデジタル化による省力化と情報精度の向上

分荷・出荷処理機能

荷物の仕分け

集荷場担当者は、データ化された荷物の数量をもとに、出荷先への振り分けを行うことができます。すでに荷物の数量はデータとして存在しているので、数を振り分けるだけで分荷作業が完了します。（前回の分荷実績に基づく自動分荷機能を開発中）

分荷例



生産者が販売先を指定しないで印刷したラベルは「未分荷品」として扱われ、集荷場担当者にて販売先を割り当てることが可能です。共販品として出荷された荷物を、共販から契約などに振り替えることも可能です。

規格	共販	振替	再販(PP部)	フレスタ	ショージ	広印	ユアーズ	ファーマインド
3L 4.5kg	1	1	0	1	2	0	0	0
2L 4.5kg	2	0	0	0	0	0	0	0
A L 4.5kg	2	1	0	0	2	0	0	0
M 4.5kg	2	0	0	0	2	0	0	0
S 4.5kg	2	0	0	0	2	0	0	0
3L 4.5kg	2	0	0	0	2	0	0	0
2L 4.5kg	2	0	0	0	2	0	0	0
B L 4.5kg	2	0	0	0	2	0	0	0

※特定の生産者を選択して分荷を行う機能を現在開発中

荷物の出荷(伝票作成・出力)

アプリを使って伝票を作成することができるので、筆圧が必要な複写式の伝票から解放されます。荷物の数量は分荷結果から自動的に引用されて表示されるので、備考や物流に関する情報を追加で入力するだけで伝票が出来上がります。作成された伝票は、PDFとしてダウンロード、インターネットFAXで送信、他システムとのデータ連携などを行うことが可能です。

伝票作成



伝票の雛形は、現在お使いの伝票に合わせてカスタマイズが可能です。

伝票出力

PDFファイル

生成された伝票をPDFとしてダウンロード可能です。

FAX

販売先にFAXを送ります。話中などで送信エラーが発生した場合でも自動的に再送信を行います。

データ連携

精算システムや他社サービスに自動データ連携が可能です。（カスタマイズ対応）

システムによるFAX送信のメリット

・FAXの未達トラブルを防ぐ

自動的に再送する機能のほか、FAXの送信状況をアプリ上で確認することができるため、もし送信エラーになったときも速やかに気づくことが可能となります。また、アプリ上から簡単に再送することができます。

・遠隔からFAXが送信可能

アプリからFAXを送信することができるので、事務所いなくても送信することができます。

得られた効果 | JAひろしま広島中央地域本部様

課題

・ 集出荷を担当する営農指導員の入れ替わりと減員

営農指導員が集出荷を担当しているため、集出荷業務に追われ本来の営農指導が十分に行えない。また、減員に伴い集出荷に要する時間が増加し、生産者一人にかけられる栽培指導時間が減少している。

・ 販売業務による業務負担の増大

営農指導員としての業務のほか、集出荷業務を行っており、かつ休日の荷受けも担当することから業務負担が大きくなっている。こうした負担はミスの誘発やFAXの未着などの事故発生リスクを高め、さらには、営農指導員の離職リスクを高める一因となっている。

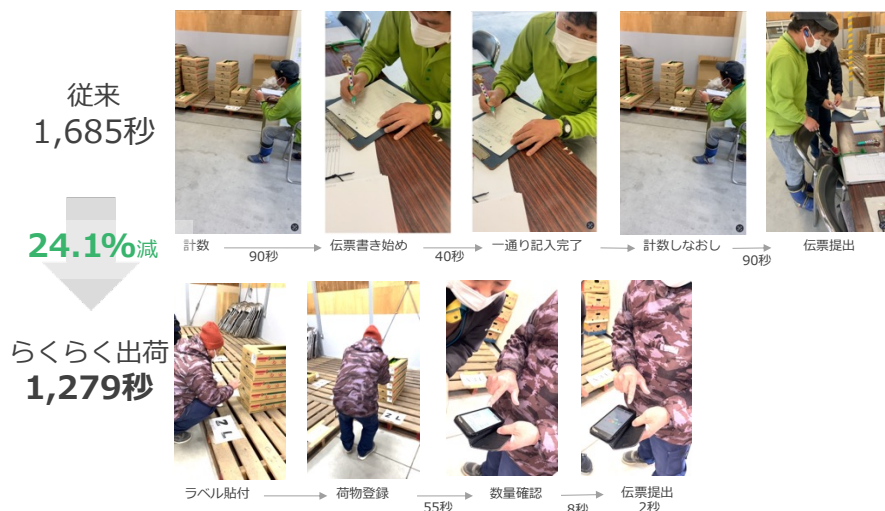
青果集出荷業務のDX化による省力化 取引先からの信用向上と有利販売の実現



時間の削減に加え、
数量間違いトラブルが
ゼロに!!

導入による効果

生産者業務フローの改善



集荷場業務フローの改善

